



# 図書目録

中医学・針灸関係書

二〇〇八年四月

- 送料：四二〇円（目録の中で、☆印のついた本は一冊二一〇円、二冊以上は四二〇円。クレジットカード払いは一律四二〇円）。
- ご購入総額が一〇、〇〇〇円を超えるときは、送料は当社が負担いたします。

**東洋学術出版社**

〒 272-0822 千葉県市川市宮久保 3-1-5

電話 047-371-8337 フリーダイヤル FAX 0120-727-060

E-mail : hanbai@chuui.co.jp

<http://www.chuui.co.jp/>

出版物の詳しい説明は当社ホームページをご覧ください。

[原文] 傷寒雜病論 ☆

B6判上製 三訂版 440頁 定価 3,675円  
『傷寒論』『金匱要略』の合冊本。明・趙開美本『仲景全書』（内閣文庫本）を底本とする。1字下げ条文を復活、旧漢字を使用。原典に忠実なテキストとして高い評価を受ける。

現代語訳◎宋本傷寒論

劉渡舟・姜元安・生島忍編著  
A5判並製 834頁 定価 9,030円  
原文と和訓の上下2段組。北京図書館所蔵の宋本傷寒論の全条文に[原文・和訓・注釈・現代語訳・解説]を付した総合的な傷寒論解説。著者は、日本の傷寒論研究に絶大な影響を与えた『中国傷寒論解説』（小社刊）の著者。

中国傷寒論解説 ☆

劉渡舟（北京中医学院教授）著 勝田正泰・川島繁男・菅沼伸・兵頭明訳  
A5判並製 264頁 定価 3,570円  
中国『傷寒論』研究の第一人者による名解説。逐条解説でなく、『傷寒論』の精神を深く把握しながら、条文の意味を理解させる。

金匱要略解説

何任（浙江中医学院教授）著 勝田正泰監訳  
内山恵子・勝田正泰・庄司良文・菅沼伸・兵頭明・吉田美保訳  
A5判並製 680頁 定価 5,880円  
『中国傷寒論解説』（劉渡舟著・小社刊）とともに、名著の誉れ高い解説書。[原文—訓読—語釈—解説—索引]の構成。

難経解説

南京中医薬大学編 戸川芳郎（東大教授）監訳  
浅川要・井垣清明・石田秀実・勝田正泰・砂岡和子・兵頭明訳  
A5判並製 448頁 定価 4,830円  
中国で最もポピュラーな難経解説書。わが国の『難経』理解に新しい視点をもたらす。[原文—和訓—語釈—現代語訳—解説—各難のポイント]の構成。入門書として最適。

現代語訳◎奇経八脈考

李時珍著 王羅珍・李鼎校注 勝田正泰訳・和訓  
A5判上製 332頁 定価 6,300円  
李時珍によって確立された奇経学説の原典。[原文・和訓・校注・現代語訳・解説]。「奇経療法」の理論的根拠をやさしく解説。「痛み」治療をはじめ日本の針灸臨床に新天地を開く書。

靈枢。



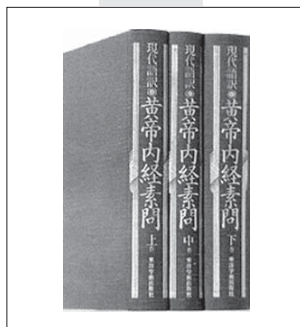
[原文・和訓・注釈・現代語訳・解説]の構成。中国で定評のある最もポピュラーなテキスト。A5判上製/函入/縦書。原文（大文字）と和訓は上下2段組。

[上巻] 568頁 定価 11,550円  
[下巻] 552頁 定価 11,550円

【上・下巻揃】定価 23,100円

現代語訳◎黄帝内経靈枢上下2巻  
監訳/石田秀実（九州国際大学教授）・白杉悦雄（東北芸術工科大学助教授）

素問。



[原文・和訓・注釈・現代語訳・解説]の構成。発行以来、大好評の解説書。「運氣七篇」「遺篇」を含む全巻81篇。A5判上製/函入/縦書。原文（大文字）と和訓は上下2段組。

[上巻] 512頁 定価 10,500円  
[中巻] 458頁 定価 9,975円  
[下巻] 634頁 定価 12,600円

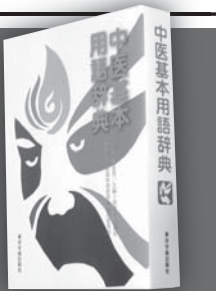
【全巻揃】定価 33,075円

現代語訳◎黄帝内経素問全3巻  
監訳/石田秀実（九州国際大学教授）

中医学の基本用語約 3,500 語を収載。

## 中医基本用語辞典

監修/高金亮 主編/劉桂平・孟静岩  
翻訳/中医基本用語辞典翻訳委員会



A5判 872頁 ビニールクロス装・函入 定価 8,400円

### ●中医学のハードルを超える！

難解な中医学用語への戸惑いを解消するために、日本の学習者のために編纂された辞典。初学者から臨床家まで、中医学を学ぶ人なら必ず手元に置きたい必携参考書。

### ●平易な説明文を読みながら学べる！

とっつきにくく難解な中医学の専門用語を、平易な説明文で解説。はじめて中医学を学ぶ人も、中医学の基礎がしっかり身に付く。

### ●抜群の引きやすさで、関連用語も調べやすい！

用語を探しやすい五十音順の配列を基本にしなが、親見出し語の下に子見出し語・孫見出し語を配列、関連用語もすぐに調べられる。

### ●臨床応用にも役立つ情報が満載！

中医病名を引くと、その中の代表的な弁証分型も子見出し語として収載されており、弁証に応じた治法・方剤名・配穴など、臨床においても参考になる情報がすぐに得られる。

## 中医学の基礎

平馬直樹・兵頭明・路京華・劉公望監修 B5判上製 340頁 定価 6,300円  
中国の第5版教材をもとに、日本人が学びやすいように徹底的に吟味推敲された「中医学基礎理論」の決定版。日中共同編集による権威ある教科書。初学者が必ず学ぶ必読書。『針灸学』[基礎篇]を改訂した中医版テキスト。

## やさしい中医学入門 ☆

関口善太著 A5判並製 204頁 定価 2,730円  
入門時に誰もが戸惑う中医学の特異な発想法を、爽やかで楽しいイラストと豊富な図表で解説。3日間で読める中医学の入門書。本書に続いて『中医学の基礎』を学ぶのが中医学初級コース。

## 中医診断学ノート ☆

内山恵子著 B5判並製 184頁 定価 3,360円  
チャート式図形化で、視覚的に中医学を理解させる画期的なノート。中医学全体の流れを俯瞰的に理解できるレイアウト。平易な文章で要領よく解説。増刷を重ねる好評の書。

## 新刊 実用中医薬膳学

辰巳洋著  
B5判並製 448頁 定価 4,410円  
本格的に「薬膳」を学びたい人のための基本テキスト。中医学理論にもとづいた「証」のとらえ方や、それぞれに合った食材や中薬の選び方を体系的に学べる。日本で日常手に入れやすい材料を使ったレシピも満載。巻末の「食材と中薬の効能一覧」は、薬膳メニューを作る際に大いに役立つ。



## 新刊 脈診——基礎知識と実践ガイド ☆

何金森監修 山田勝則著  
A5判並製 296頁 定価 3,360円  
中医学の伝統的な理論にのっとった脈診ガイド。一般に脈診を本で学ぶことは難しいといわれるが、本書ではそれが可能。脈理を理解することで、脈象の膨大な内容を暗記する必要がなくなり、脈象の基準をはっきりさせることで、脈象判断が確かなものになる。豊富な図解で、複雑な脈診が学びやすく、記憶しやすい。初学者が感じる戸惑いやわかりにくさを、わかりやすく内容のある表現で解説。



## 【CD-ROMでマスターする】舌診の基礎

高橋楊子著 CD-ROM付き B5判並製 88頁 定価 6,300円  
CD-ROMを使った新しい舌診ガイド。舌診の基礎と臨床応用法を詳説。付属CD-ROMとの併用で、舌診を独習できる。繰り返し学習することで、舌診の基礎をマスター。著者は、中国の代表的な診断学研究室の出身で、確かな内容。

## 宋以前傷寒論考

岡田研吉・牧角和宏・小高修司著 森立之研究会編  
付録 CD-ROM付き A5判並製 640頁 定価 8,400円  
画期的な傷寒論研究。数多の文献との比較・検証によって、『傷寒論』の時代的変遷が明らかにされた。定説を打ち破る、『傷寒論』の真実の数々。千年来の『傷寒論』の疑問が、いま氷解する。『傷寒論』の基礎病理がわかれば、臨床応用の選択肢が広がる。

## 臨床力を磨く傷寒論の読み方 50 ☆

裴永清著 藤原了信監訳 藤原道明・劉桂平訳  
A5判並製 312頁 定価 3,990円  
劉渡舟先生を師とする著者が、長年の臨床経験にもとづき、『傷寒論』の50の論題に関する緻密な考察を述べる。古典理論によって、『傷寒論』の難点をすっきりと解決し、治療効果を発揮するための実践的な考え方を提示する。

## 中薬の配合

丁光迪編著 小金井信宏訳 A5判並製 576頁 定価 5,670円  
 中医学では中薬はどのような法則で配合されているのか、配合法則を徹底的に解説。中薬理論と臨床を有機的に結びつけた見事な解説書。歴史学説を整理・総括、著者自身の豊富な経験を加える。読むほどに味わい深い中医学の真髄を感得できる。中国では大学院生の必読書として評判の名著。

## わかる・使える 漢方方剤学 [時方篇]

小金井信宏著 B5判並製 352頁 定価 4,410円  
 今までにない面白さで読ませる方剤学の決定版。知らず知らずのうちに広大な中医学の世界へと誘う魅力ある解説書。経方（傷寒・金匱）以降に開発された中国歴代の名方の宝庫を徹底的に解説。

## わかる・使える 漢方方剤学 [経方篇1]

小金井信宏著 B5判並製 340頁 定価 4,410円  
 シリーズ第2作は『傷寒・金匱』の「経方」の世界を紹介。各方剤を図解・表解・比較方式で系統的に解説。これほど興味を引き立てる方剤解説はそう多くはない。北京中医薬大学大学院を初めて卒業した日本の英才による処方解説。

## 【詳解】中医基礎理論

劉燕池・宋天彬・張瑞韻・董連榮著 浅川要監訳  
 B5判並製 368頁 定価 4,725円  
 Q&A方式で質問に答える奥行きのある中医学基礎理論の解説書。設問は212項目。中医学基礎理論をもう一步深めたい人のための充実した解説書。中国では大学院クラスの学生が学習する中級用テキスト。症例に対する弁証論治は初級から中級へ進む人の必読内容。

## 中医病因病機学

宋鷺冰著 柴崎瑛子訳 A5判並製 608頁 定価 5,880円  
 病因病機は中医学の核心中の核心。患者の証候を分析し、病因と病態メカニズムを明らかにすることによって、治療方針を立てるのが中医学の最大の特徴。その病因病機を専門に解説した名著の1冊。

## 中医弁証学

柯雪帆著 兵頭明訳 A5判並製 544頁 定価 5,355円  
 基礎理論と臨床をつなぐキーポイント——それがすなわち弁証である。本書は弁証を専門に解説した名著の1つ。証を羅列的・静止的に捉えるのではなく、立体的・動的に捉える画期的な解説書。1つの証がどのような経過をたどり、どのような予後にいたるかを予想してはじめて、現実性のある臨床を行うことができる。

## 症例から学ぶ中医弁証論治

☆

焦樹徳著 生島忍訳 A5判並製 272頁 定価 3,675円  
 「弁証論治」は中医学の核心であり、根本精神。名老中医・焦樹徳教授が、入門者にも理解できるように、弁証論治の考え方と方法を、症例を中心にしながら噛み砕いて解説した名著。

## いかに弁証論治するか

☆

—— [疾患別] 漢方エキス製剤の運用

菅沼伸監修 菅沼栄著 B5判並製 296頁 定価 3,885円  
 疾患別に病因病機と弁証論治、方剤選択を簡潔・明解に解説。日本の漢方エキス製剤を中医学的に運用するためのわかりやすい説明。教科書スタイルでない興味溢れる解説。日本でおなじみの熱血講師・胡栄（菅沼栄）先生の熱気あふれる名講義を図表を加えて単行本化。

## いかに弁証論治するか [続篇]

☆

—— 漢方エキス製剤の中医学的運用

菅沼伸監修 菅沼栄著 B5判並製 296頁 定価 3,885円  
 待望の『いかに弁証論治するか』の続篇。

## 漢方方剤ハンドブック

☆

菅沼伸・菅沼栄著 B5判並製 312頁 定価 4,200円  
 日本の漢方エキス製剤と日本で市販されている中国の中成药136方剤を解説。各方剤の構成と適応する病理機序・適応症状の相互関係を図解し、臨床応用のヒントを提示する。「証にもとづく漢方方剤の運用」に明確な指針を与える書。同著者の『いかに弁証論治するか』の姉妹篇。

## 名医の経方応用——傷寒金匱方の解説と応用

姜春華・戴克敏著  
 藤原了信監訳 藤原道明・劉桂平訳  
 A5判並製 592頁 定価 5,670円  
 上海の名老中医・姜春華教授の講義を整理・加筆。『傷寒・金匱』収載の約160方剤について、構成生薬・適応証・方解・歴代名医の研究・応用を解説、エキス剤にも応用可能。200例以上の症例とその考察は中医臨床のモデル。漢方入門者から上級者まで、長く使える1冊。

## 中医免疫学入門

☆

劉正才・尤煥文著  
 山内浩監訳 上村澄夫・国分正英訳  
 A5判並製 184頁 定価 2,940円  
 医療最先端である現代免疫学と中医学との接点を解明。免疫疾患に対する中医学の有効性を理論と膨大な臨床・実験結果から解説。

## 中医対薬——施今墨の二味配合法

呂景山著 江崎宣久・鈴木元子・福田裕子訳 A5判並製 402頁 定価4,410円  
 中医処方学の核心は二味の配合にある。名老中医・施今墨が編み上げた法則を弟子の呂景山が完成。二味を組み合わせることによって、「薬力を強める」「副作用を抑える」「長所を高める」「特殊な効能を生み出す」などの新しい効果を生み出す。約290対の「対薬」の組成、単味の効能、配合効果、適応症、常用量、臨床応用を記載。現代中医学の古典的名著。

## 症例から学ぶ中医婦人科——名医・朱小南の経験 ☆

朱小南著 柴崎瑛子訳 A5判並製 312頁 定価3,990円  
 20世紀前半に上海で活躍した中医婦人科の筆頭名医・朱小南の経験を理論と医案に分けて整理。80余に及ぶ豊富な医案を通じて、朱小南の臨床応変に弁証論治する発想とそのプロセスを知ることができ、今日の婦人科診療に役立てることができる。

## 定性・定位から学ぶ中医症例集 ☆

叢法滋著 相場美紀子訳 B5判並製 120頁 定価2,940円  
 中国では、名医や先輩たちの無数の医案・症例を読んで臨床力をつけていく。本書は、日本で初めての中医症例集。豊富な臨床経験と日本での教育体験をもつ著者が、日本の初学者のために編み出した画期的な弁証学習書。「定性・定位」の視点から弁証を学ぶシンプルな方法論を提唱、これにより弁証論治の基本を習熟することができる。

## アトピー性皮膚炎の漢方治療 ☆

総論：伊藤良・江部洋一郎・平馬直樹  
 症例：小高修司・田川和光・江部康二・岡部俊一・竹原直秀ほか  
 全24篇 55症例 カラー写真多数 B5判並製 216頁 定価3,570円  
 複雑な病態を示すアトピー性皮膚炎に対して、画一的な「病名漢方」は通用しない。緻密な病態分析を通じて、はじめて適切な方剤選択が可能となる。本書は、アトピーの病因と病理機序を体系化し、病態パターンにもとづいた方剤選択のノウハウを紹介する。中医学導入より20年、全国の中医臨床家の苦闘から生まれた見事な成果。

## 痛みの中医診療学

宮田健監修 趙基恩・上妻四郎編著 B5判並製 444頁 定価6,300円  
 痛みは生体が発する体内異常のサイン。じくじくする痛み、鋭い痛み、ずきんずきんする痛み——さまざまな痛みは体内のどんな異常を訴えているのか。これをどう治療するのか。本書は日本で出版された最初の、痛みに関する総合的な中医診療指針。痛みについての中医学の考え方、診察法、診断法の総知を詳細に解説、併せて日本の漢方エキス製剤を含む多彩な中医的治療法を紹介する。

## 経方医学シリーズ

まったく新しい『傷寒論』の解釈で、話題を巻き起こすシリーズ。『傷寒論』の生理から病理・処方・薬物まで、全体系を驚くほど緻密な論理で解明する。日本漢方・中医学の伝統を踏まえながら、より深化・発展させた画期的でダイナミックな理論体系。『傷寒・金匱』の条文から、体内を流れる気血の方向性、強弱を把握して病理を考察し、各生薬の効能を再検討し、各処方に独自の評価を与えている。

### ■ 経方医学 1 ☆

『傷寒・金匱』の理論と処方解説  
 江部洋一郎・横田静夫著  
 A5判並製 244頁 定価4,200円  
 「経方医学」シリーズの総論篇。簡潔な条文と処方の背後にある体系を理論化する。

### ■ 経方医学 3 ☆

江部洋一郎・和泉正一郎著  
 A5判並製 224頁 定価3,570円  
 葛根湯・小青竜湯・真武湯・五苓散を中心にした処方解説。

### ■ 経方薬論 ☆

江部洋一郎・和泉正一郎・内田隆一著 A5判並製 132頁 定価2,100円  
 『経方医学』の処方の働きを理解するには各生薬が担う役割を理解する必要がある。各生薬のベクトル性を強調する本薬論は、『経方医学』を読むための不可欠の知識。本書は、傷寒金匱方を中心とする全118味について、各単味ごとに『神農本草経』と『名医別録』の関連条文をあげ、「効能」「作用する場所」「処方」「参考項目」の各項目を設けて丁寧な解説を加える。

### ■ 経方医学 2 ☆

江部洋一郎・横田静夫著  
 A5判並製 180頁 定価3,360円  
 桂枝湯加減と麻黄湯を中心にした処方解説。

### ■ 経方医学 4 ☆

江部洋一郎・和泉正一郎著  
 A5判並製 264頁 定価4,200円  
 結胸・臍結／胸痺・心痛／梔子豉湯類／木防己湯・木防己去石膏加茯苓硝石湯／酸棗仁湯・黄連阿膠湯／柴胡湯類／瘧病／黄芩湯・黄芩加半夏生姜湯／瀉心湯類／その他の処方／白虎湯類

## 中医食療方——病気に効く薬膳 ☆

瀬尾港二・宗形明子・稲田恵子著 A5判並製 356頁 定価2,940円  
 「薬食同源」は中医学の基本。薬効のある食べ物と、おいしく食べられる生薬をじょうずに組み合わせ、はじめて中医治療の効果はさらに高まる。西洋医学の疾患ごとに中医学的に証分けをし、それぞれの証についての薬膳レシピを満載。医師、薬剤師、鍼灸師、栄養士の方たちが患者の食事指導をするときに役立つ1冊。

## 『針灸学』シリーズ4部作

### シリーズ1 針灸学〔基礎篇〕 (第三版)

天津中医薬大学+学校法人後藤学園編  
 兵頭明監訳 学校法人後藤学園中医学研究室訳  
 B5判並製 368頁 定価5,880円  
 日中の共有財産である伝統医学を、現代日本の針灸臨床に活用するために整理しなおし、平易に解説した好評の教科書。

### シリーズ2 針灸学〔臨床篇〕

B5判並製 548頁 定価7,350円  
 日常よく見られる92症候の治療方法を「病因病機—証分類—治療」の構成で詳しく解説。各症候に対する古今の有効処方が紹介。

### シリーズ3 針灸学〔経穴篇〕

B5判並製 508頁 定価6,300円  
 全409穴に出典・由来・要穴・定位・取穴法・主治・作用機序・刺法・灸法・配穴例・局部解剖を解説。ツボの作用機序が特徴。理論と臨床とツボの有機関連からツボの運用範囲を拡大する。豊富な図版全183点、日中経穴部位対照表。

### シリーズ4 針灸学〔手技篇〕

鄭魁山（甘肅中医学院教授）著  
 兵頭明監訳 学校法人後藤学園中医学研究室訳  
 B5判並製 180頁 定価4,410円  
 著者は、中国の最も代表的な針灸名医。中国の代表的な手技のほか、家伝の秘法も紹介。手技全般の知識を、豊富な写真（203枚）と刺入後の皮膚内をイラスト化して丁寧に解説。治療効果を飛躍的に向上させる針灸手技。  
 ＊旧版『写真でみる針灸補瀉手技』の書名を改め、『針灸学』シリーズ4部作に編入しました。内容は旧版と変わりません。ご注意ください。



### 【中医臨床文庫1】風火痰瘀論 ☆

章真如著 渡邊賢一訳 A5判並製 248頁 定価3,675円  
 朱丹溪理論の中核である風・火・痰・瘀の4大病因を取り上げ、それぞれの概念と源流、およびこれらの病因に関連する病証、具体的な症例をわかりやすく解説する。古今の理論と臨床経験を総合した名著の一冊。

### 医古文の基礎

劉振民・周篤文・銭超塵・周貽謀・盛亦如・段逸山・趙輝賢編著  
 荒川緑・宮川浩也編訳 B5判並製 340頁 定価4,410円  
 中国伝統医学の学習には、古典を読むことが必須。本書は、工具書、句読、語法、文、訓詁学、古韻、目録学、版本と校勘、漢字まで、古典を読むために必要な基礎知識を網羅。

### 中国医学の歴史

傅維康著 川井正久編訳 A5判上製 752頁 定価6,615円  
 本邦初の総合的な中国医学の歴史。通史であるとともに、各家学説史でもある。歴代各家の臨床経験を土台にした重要学説を体系的に解説。汲みつくせないほどの豊富な臨床のヒントを提供する。中国伝統医学のルーツと発展史を知ることなしに、われわれの東洋医学を語ることはできない。伝統医学の百科事典。

### 中医伝統流派の系譜 ☆

黃煌著 柴崎瑛子訳 A5判並製 344頁 定価3,780円  
 中国医学史に現れた16の流派（日本古方派・後世方派を含む）を、発生過程から臨床の特徴まで詳細に解説。中医学の実質は、数多くの流派が絡み合った混沌の医学といえる。その歴史から、多くの臨床に役立つヒントを引き出せる。中医学・漢方との付き合い方を教えてくれる新鮮な1冊。

### 【中医臨床小説】老中医の診察室 ☆

柯雪帆著 石川鶴矢子訳 A5判並製 328頁 定価3,150円  
 小説という形をとったカルテであり、医案集である。著者が若きころ名医・金寿山老中医について臨床を学んだ実体験をもとに描いた中医臨床現場の記録。全30篇の短編小説であるが、1篇ごとに難病患者が登場、中醫師と病とのドラマチックな闘いが現出される。

### 中国気功学

馬濟人著 浅川要監訳 津村喬解題 植地博子・加藤恒夫・塩原智恵子訳  
 A5判並製 536頁 図版写真140点 定価5,040円  
 奥深い気功学の屈指の名著。内容は、①「学」としての気功学、②気功の発展史、医学・哲学・芸術・宗教の原基、③古典気功から実践気功に及ぶ。気功の総合解説書。気功教室の指導者必読の書。

## 〈李世珍先生の本〉



### ■ 臨床経穴学

李世珍著 兵頭明訳  
B5判並製 824頁 定価 10,080円

李家4代100年の家伝の集大成。一家伝という狭い経験の世界でなく、鍼灸の弁証論治という一大体系を形成した画期的な書。いわば現代中医鍼灸学の王道を極めた書といえる。臨床的に目を見張る効果を生み出す点で、日本鍼灸界にも大衝撃を与えている。太い鍼を使用しながらソフトな「心地よい感覚」を与える。初心者でも割合に短期間に習得できる鍼である。本書では86穴の効能と手技を示す。



### ■ 中医鍼灸臨床發揮

李世珍・李伝岐・李宛亮著 兵頭明訳  
B5判並製 762頁 定価 7,980円

厳密な弁証のうえで、3～4穴の少数穴へ4分から10分という長い時間をかけた手技を行う。本書では、中医病名ごとにいかに弁証をし、選穴すべきかを綿密に説く。追試した読者たちから「驚くほどの効果があった」「患者が心地よい鍼だ」といった声が次々に寄せられる。『臨床経穴学』の姉妹篇。



ムック

### ■ 李世珍の針—弁証の針、効かせる技 ☆

B5判並製 206頁 附録：CD-ROM 定価 2,940円  
「李世珍の針」の一大総合特集。痛みが少なく、心地よい針は、日本の臨床現場で不可欠な要素である。李世珍の針ならそれが可能だ。そのためにはきちんと手技を修得することが欠かせない。附録CD-ROMや本書の記事には手技を修得するためのノウハウが収められている。さらに、本書で紹介する追試報告や座談会の記事からこの針が臨床的に非常に優れた効果を発揮することがわかる。李世珍先生の2冊の書籍を活用するための手引き書としても最適。



### 新刊 【図解】経筋学 —基礎と臨床—

西田皓一著  
B5判並製 2色刷 504頁 定価 7,140円  
経筋療法を学体系化し、徹底した追試によってその効果を確認。日常診療でよく遭遇する疾患から難病まで幅広くカバーし、豊富な図版によって解説。具体性に富む内容で、臨床ですぐに使える刺針技術が満載。



### 写真でみる脳血管障害の針灸治療 ☆ 「醒脳開竅法」の理論と実際

石学敏著 兵頭明監訳 学校法人後藤学園中医学研究室訳  
B5判並製 128頁 写真 163枚 定価 3,990円  
医療の最前線に登場したハリとして注目される、話題の「醒脳開竅法」。その運用ノウハウを連続写真で紹介。脳血管障害に対するファーストチョイスの治療法。

### 中国刺絡鍼法

譚徳福・郭劍華・尤慶文・王武興編著 日本刺絡学会監訳 本書翻訳委員会訳  
A5判並製 360頁 定価 4,515円  
刺絡鍼法の中国における臨床研究成果を集大成。豊富な臨床資料と症例を提示、同療法の価値と有用性を明確に裏付ける。

### 中医針灸学の治法と処方

邱茂良著 浅川要・加藤恒夫訳  
A5判並製 464頁 定価 4,830円  
針灸の治療法則を体系的に解説。中医針灸学の骨幹をなす「理・法・方・穴・術」の「法」と「方」に重点を置き、理論と臨床をみごとに結合させた。

### 針灸経穴辞典

山西医学院李丁・天津中医薬大学編  
浅川要・塩原智恵子・木田洋・横山瑞生訳  
A5判上製/函入 524頁 図 206点 定価 7,035円  
経穴 361穴、経外奇穴 61穴に〔穴名の由来〕〔出典〕〔別名〕〔位置〕〔解剖〕〔作用〕〔主治〕〔操作〕〔針感〕〔配穴〕〔備考〕を示し、ツボに関する必要知識を網羅。重版を重ねる好評の経穴辞典。

### 針灸弁証論治の進め方 ☆

徐恒沢・倪以恬・劉躍光・吳中朝編著 伊達啓太郎訳  
A5判並製 240頁 定価 2,730円  
中国で作られた外国人用テキストを翻訳した世界針灸のスタンダード版。中医病症別に治療方法を網羅。具体的な症例をあげて平易に解説。

## 中国鍼灸各家学説 ☆

魏稼主編 佐藤実監訳 浅川要・加藤恒夫・佐藤実・林敏訳  
A5判並製 324頁 定価 3,570円  
鍼灸医学の歴史は、五大医籍・八大流派・四十家学説などによって培われてきた多彩な世界である。鍼灸2千年の歴史は、各流派の臨床経験の歴史でもある。歴代の医家40人の生涯・学説・手技・著作・思想を掘り下げ、後世への影響と功績を検証する。

## 針師のお守り ☆

浅川要著 新書判 168頁 定価 1,050円  
著者はよく知られた日本の中医針灸派の教育者であり、リーダーである。日本の針灸の発展を模索してひたすら伝統針灸を学び、実践してきた著者が、中医学を学び、日常臨床に携わるなかで感じた問題点・疑問点を取り上げ、針灸の本質を追究していく。

## 針灸二穴の効能 [増訂版] ☆

呂景山著 渡邊賢一訳 A5判並製 340頁 定価 4,200円  
二穴の配合は、すべての鍼灸師が知っておくべき針灸処方の原点。二穴を組み合わせることで、相乗効果で効力を高めたり、新たな効能を生み出して、単穴とは異なる独特の治療効果を得ることができる。本書には、223対の腧穴の組み合わせが収録され、単穴の作用・相互作用・主治・治療方法・治療経験が詳細に記載されている。増訂版では初版の巻末に2穴の作用一覧など附録を追加。

## [症例から学ぶ] 中医針灸治療 ☆

邵湘寧主編 名越礼子訳  
A5判並製 320頁 定価 3,990円  
入門者のための症例集。症例学習は、臨床における弁証能力を培う有力な手段。本書には、針灸が適応する63種類の病症を網羅。中医弁証の思考過程をていねいに説明しているので、臨床に応用が効く。症状の変化に応じた針の操作方法もきまこまかく解説。



## [図でわかる] 中医針灸治療のプロセス ☆

朱江・劉雲提・宋琦編 篠原昭二監訳 和辻直・齊藤宗則訳 B5判並製 160頁 定価 2,940円  
図表化すれば中医針灸の治療過程がよくわかる。本書では、中医病名・病証別に、複雑な弁証論治の過程をチャート形式にすることで簡明に表記。一目で中医針灸の治療過程が理解できる。中医学の思考方法を学びたい入門者にとって絶好の書。また、監訳者自身の臨床経験にもとづく解説が付されており、たいへん参考になる。



## 中医臨床バックナンバー一覧

- ホームページに詳しい目次があります。◇は品切れ号です。
- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 111号◆特集/未病を治す          | 55号◆特集/心悸の治療           |
| 110号◆特集/「毒」の概念         | 54号◇特集/便秘の治療           |
| 109号◆特集/中薬の外用薬         | 53号◇特集/汗証の治療           |
| 108号◆特集/ストレスからくる疾患     | 52号◇特集/鬱証の治療           |
| 107号◆特集/中医小児科          | 51号◇特集/痺証の治療           |
| 106号◆特集/中医体質論          | 50号◆特集/老化防止の弁証論治       |
| 105号◆特集/不妊症の治療         | 49号◆特集/インボテンツの治療       |
| 104号◆特集/糖尿病の中医治療       | 48号◇特集/眼精疲労の治療         |
| 103号◆特集/カゼの治療          | 47号◆特集/心痛の治療           |
| 102号◆特集/眼科の中医治療        | 46号◇特集/頭痛の弁証論治         |
| 100・101号◆特集/中西医結合      | 45号◇特集/下痢の治療           |
| 99号◆特集/腎疾患の中医治療        | 44号◇特集/眩暈の治療           |
| 98号◆特集/広東省とSARS        | 43号◇特集/不眠症の治療          |
| 97号◆特集/ステロイド剤と中医学      | 42号◇特集/生埋痛の治療          |
| 96号◆特集/威力を発揮する中医外科療法   | 41号◆特集/肝炎の治療           |
| 95号◆特集/大黃の臨床応用         | 40号◇特集/浮腫の治療           |
| 94号◆特集/慧苳仁の臨床応用        | 39号◇特集/日中症例討論・皮膚科疾患の治療 |
| 93号◆特集/理気剤の運用          | 38号◇特集/胃痛の治療           |
| 92号◆特集/「辛開苦降」法と半夏瀉心湯   | 37号◇特集/アレルギー性鼻炎と蓄膿症    |
| 91号◆特集/風薬の多彩な使い方       | 36号◇特集/糖尿病の治療          |
| 90号◆特集/茯苓と茯苓剤          | 35号◇特集/焦樹徳先生の慢性肝胆病治療   |
| 89号◆特集/黄耆と玉屏風散・防己黃耆湯   | 34号◇特集/漢方エキス剤の中医学的運用   |
| 88号◆特集/名方「温胆湯」を使いこなす   | 33号◇特集/『内経』の臨床的価値      |
| 87号◆特集/黄連と黄連解毒湯の使い方    | 32号◇特集/日本の風土にあう温病学説    |
| 86号◆特集/清熱剤と清熱法         | 31号◆特集/焦樹徳先生の喘息治療      |
| 85号◇特集/名方「血府逐瘀湯」を使いこなす | 30号◇特集/めまいの治療          |
| 84号◆特集/虚証と補剤           | 29号◇特集/老化と老化予防の治療      |
| 83号◆特集/痛みの治療           | 28号◇特集/便秘の治療           |
| 82号◆特集/骨粗鬆症の治療         | 27号◇特集/古典を考える          |
| 81号◆特集/更年期障害の治療        | 26号◇特集/皮膚疾患の治療         |
| 80号◆特集/これからの中医学        | 25号◇特集/いろいろな中医診断情報     |
| 79号◇特集/痴呆症の治療と「健脳益智」   | 24号◇特集/慢性肝炎の治療         |
| 78号◇特集/高脂血症の治療         | 23号◇特集/気管支喘息の治療        |
| 77号◆特集/口腔疾患の治療         | 22号◇特集/婦人科疾患           |
| 76号◇特集/難治性疾患の治療        | 21号◇特集/中医小児科疾患の治療      |
| 75号◇特集/過敏性腸症候群の治療      | 20号◇特集/中西医結合による虚証研究    |
| 74号◇特集/疲労倦怠感の治療        | 19号◇特集/口腔疾患の中医弁証論治     |
| 73号◆特集/「症状のない疾患」の治療    | 18号◇特集/腎疾患の治療          |
| 72号◇特集/月経困難症の治療        | 17号◇特集/痺証と関節リウマチ       |
| 71号◇特集/慢性関節リウマチの治療     | 16号◇特集/傷寒方の運用          |
| 70号◆特集/男性科疾患の治療        | 15号◇特集/「証」の現代的アプローチ    |
| 69号◆特集/夏/バテの病因・病機と弁証論治 | 14号◇特集/漢方エキス剤の中医学的運用   |
| 68号◇特集/花粉症の治療          | 13号◇特集/難治性疾患の治療        |
| 67号◇特集/皮膚癬痒症の治療        | 12号◇特集/皮膚疾患の治療         |
| 66号◇特集/高血圧症の弁証論治       | 11号◇特集/瘀血と活血化瘀         |
| 65号◇特集/癌の治療            | 10号◇特集/婦人科疾患           |
| 64号◇特集/ストレスと神経症        | 9号◇特集/腎の本質と補腎治療        |
| 63号◇特集/耳鳴・難聴の治療        | 8号◇特集/喘息の弁証論治          |
| 62号◇特集/冷え症の治療          | 7号◆特集/慢性肝炎の弁証論治        |
| 61号◆特集/口内炎の弁証論治        | 6号◇特集/中国針灸によるスモン病の治療   |
| 60号◆特集/淋証の治療           | 5号◇特集/傷寒論一六経か六病か       |
| 59号◆特集/血証(出血)の治療       | 4号◇特集/「傷寒論研究」の特集について   |
| 58号◇特集/肥満症の治療          | 3号◇特集/中国の『傷寒論』研究の流派    |
| 57号◆特集/中薬と西洋薬の併用       | 2号◇特集/胆石症              |
| 56号◆特集/エイズ治療の最前線       | 創刊号◇特集/虚血性心疾患・狭心症      |

中医学を初歩からマスターできる雑誌

季刊

# 中医臨床



- 定価 1,650 円（税込・送料 210 円）
- 年間予約 6,600 円（4 冊分・税込・送料共）
- 3 年予約 18,000 円（12 冊分・税込・送料共）

## 短期間に自力で臨床ができることが目標

できるだけ短期間に中医学をマスターして、自力で臨床ができる力をつけていただくことを第一の目標に編集を進めています。中医学を分散的でなく系統的に学べることを念頭に置きながら、疾患・症状の病態本質を見分け、処方・配穴・手技を的確に運用できる能力を身につけることをめざしています。

## 漢方エキス剤の 中医学的運用

毎号、疾患・症状・方剤別の興味深い特集を掲載。疾患の病因病機の分析に重点を置き、症状のどのような変化にも対応できる能力を培います。「病名漢方」でなく、「弁証漢方」に重点を置きながら、エキス剤の運用効果の向上をめざしています。

## 中医学を初歩からマスターできる雑誌

## 読者と双方向性の コミュニケーション

「症例相談」や「症例討論」「質問」のコーナーを設け、読者と双方向のコミュニケーションを強め、臨床力向上をめざしています。「弁証論治トレーニング」では、出題された症例に多くの読者が回答を寄せ、それにコメントーターが親切に解説を加えています。活気のあるコーナーです。

## バラエティーに 富んだ誌面

中医学の基礎理論や用語解説など初級者向けのやさしい記事から、高度な難病治療の文献まで、魅力たっぷりの記事を満載。漢方と針灸の両分野を中心に、講演・インタビュー・取材記事・解説記事・症例検討・理論検討・翻訳文献・研究動向・食養・コラム・書籍紹介・ニュース……など多彩な内容。